

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2016年3月1日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第21号

部落差別とヘイトスピーチ

被差別部落の歴史や現状を調べることで、人は何故差別をするのかを長年考えてきました。現在の部落差別には、差別を意図しないことで差別とされるものがあります。例えば、「特殊部落」を用いた発言や文章が問題にされますが、その内容には被差別部落を侮蔑する意思がまったくないものがほとんどです。また、意図して差別するものもありますが後ろめたさを伴って差別がおこなわれています。例えば、駅のトイレ等での差別落書きがそれで、差別は社会的に許されないことをわかっているため、自らが差別落書きをしたかが判らないように、密室でコソコソとおこなわれるのです。このような部落差別の現状から、私は、差別を解消するには法律で規制するのではなく、対話によって問題点を明らかにしながら、相手の考え方を変えることが有効な手段だと確信してきました。

しかし、ヘイトスピーチは私が経験してきた差別とはまったく異質なもので、法によるのではなく対話によって問題を解決していくという私の考え方はあっけなく崩れてしまいました。ヘイトスピーチは意図的であり、後ろめたさありません。「確信犯」という言葉がありますが、まさしく確信をもって差別をしているのです。激しい憤りと共に「この人たちとは対話が成立しない」という絶望感が込み上げてきました。ヘイトスピーチを規制する法律が制定された時は、正直なところ安堵してしまいました。

法律があることで、行政による啓発が積極的におこなわれ、ヘイトスピーチを許してはいけないとの社会的な流れが生まれてきています。法律があることは、決して悪いことではないのですが、法律に任せて、人と人が対話する努力を怠ってはいけないと思います。真に相手の考え方を変えることが出来なければ、社会的な流れが変わったときに、更なる差別が生まれて来るのではないかと考えています。(前川 修)

ヘイトデモに厳正対処
違法行為現行形で 警察庁、全国に指示

川崎のヘイトデモ中止
出発直後、反対派が包囲

【東京】ヘイトスピーチ対策法が施行された初の週末の5日前、排外主義的な団体「川崎市中原区」が川崎市中原区で計画していたデモが、出発直後に中止された。十数人が集ったのに対し、ヘイトデモに反対する市民ら数百人が取り囲んだ。神奈川県警も中止するよう勧告した。市民らは、デモの出発地とされた同区の中原平和公園で「ヘイトデモ中止」のプラカードを掲げて10分ほど進んだところで市警の制止を受け、警察の監視に依りて中止を決めた。川崎市でヘイトデモ反対の先頭を立ってきた川崎市の市民グループが抗議に集まると、反対派がデモの進行を阻止しようとした。川崎市では、5日後には、東京都渋谷区で、共産党を批判するデモ行進が、川崎のデモと同様に中止された。川崎市では、5日後には、東京都渋谷区で、共産党を批判するデモ行進が、川崎のデモと同様に中止された。川崎市では、5日後には、東京都渋谷区で、共産党を批判するデモ行進が、川崎のデモと同様に中止された。

2016年度第3回 SYOKUIKU 「体にいいおやつ」

今年度最後のSYOKUIKUは「おやつ」作りをしました。

簡単に手に入る材料で簡単にできるおやつを教わりました。

参加してくれたのはフィリピンの女性5人と男性1人です。おやつ4品をほんとうに短時間で作ってしまい、みんなで美味しくいただきました。仕事で漬けたキムチを持ってきてくれたので、こちらと一緒にいただきました。子どもにとっては栄養の補助としての役割が大きいですが、大人にとっては気分を変えたり、その場を和ます一品となる手作りおやつでした。



大人気!!豆乳プリンの作り方

<材料>豆乳 400cc、粉寒天 10g、水 300cc、砂糖 90g、市販のケーキシロップ

<作り方>

- ①お鍋に砂糖と粉寒天を入れてまぜる。
- ②①に水を入れて火にかける。2分間沸騰させる。
- ③火を消してから、豆乳を入れる。
- ④コップやプリンの型に入れて、冷蔵庫で冷やす。
- ⑤固まったらケーキシロップを入れてできあがり。

おからととうもろこしのパンケーキをおやつ用に作りました。

まず、先生が私たちに使用する材料を説明をしてくださり、粉はジャガイモ、トウモロコシ、サツマイモなどから作られていることを知りました。先生が私たちにそれぞれの粉を手に取り、試してみるように言われました。そして、味を良くするためには異なった粉を使わなくてはならないことを教えられました。

私たちは4つのスナックを作りました。そのうち、おからとトウモロコシのパンケーキは、あまり甘くなく準備も簡単で時間もかからず私は好きです。

これらのスナックは私にとって初めて食べたものでまた、次の料理教室にもぜひ参加したいと思います。

マヴィー 安西



コーンパンケーキは美味しかったです。豆乳プリンも、はじめ見るとあまり美味しくないみたいでした。でも、食べると、味がなんかすごく美味しかったです。甘いのが大好きだから、この味は大好き。おからバーは、ごめんなさい。あまり好きじゃないです。みたらしもあまり好きじゃないです。ほんとうにごめんなさい。すべてのお菓子の中で一番大好きなのは、豆乳プリンでした。私は、日本の料理がまだまだわかりません。だから、勉強したいです。もっと頑張りたいです。また、やってください。(^^)v

ジェマリン 白波瀬

おからバーは何か簡単です。豆腐プリンはとても大好きです。みたらし団子は甘い！コーンパンケーキは、キムチと一緒に食べると良いです。Even if I am not good in cooking, I love the experience. It moves myself to try the activity in our convent and it serve as a follow up of our Nihongo class.

シスター ロサリオ

保育園で通算20年以上働いてきて、子どもたちとクッキングすることがあっても大人の方で、ましてや文化の違う外国籍の方に料理を教えることも初めてで、最初はどうしたらいいのか？悩みました。日本に来ておられる方なので、「日本のことも知っているかな？味付けは口に合うかな？」などいろいろ考えました。主任や、ネットワークサロンの村田さんと話し合いを重ね相談し、当日ドキドキして話し始めると、来られていた方々はとても気さくで料理が好きで、熱心に耳を傾けてくださり、こちらの緊張もあっという間にほぐれました。

お出汁の回では、お出汁の文化は日本独特のものですが、みなさん美味しいと言って、家でも作ってみるとレシピを持って帰ってくれました。

おやつでは和菓子だけではなく、保育園で作っているヘルシーなおやつを紹介して、この時も喜んで帰ってもらえたので嬉しかったです。

私自身はいろんな国に興味があり、旅行ではその国の料理を味わうようにしていますが、普段食べている日本食についてうまく伝えられたでしょうか？

参加された方々に助けられた楽しい「SYOKUIKU」でした。

希望の家カトリック保育園調理担当

柳生知里



「東九条子ども食堂から、感謝を込めて」

京都南部教会牧師 許伯基（ほ・ペッキ）



早いもので、昨年9月に東九条子ども食堂が開設されて、6ヶ月が経とうとしています。まずはじめに、京都南部教会として、昔のオモニハッキョのように、地域に役立つ活動の一端を担わせてもらいたい、という思いがありました。そして、ここ数年「子どもの貧困」問題とともにクローズアップされている「子ども食堂」という形の活動ならば、この教会

の施設を使い、働き手を募って、出来るのではないかと、という気づきがありました。さらに希望の家カトリック保育園や京都市地域・多文化交流ネットワークサロンをはじめとする地域運動の担い手の皆さんからのあたたかい応援と的確なアドバイスがありました。そして、支援金や食材・お菓子の寄付を通して応援して下さるたくさんの方々の思いや、利用して下さる皆さんの笑顔と励ましの言葉が、今、この毎週の子ども食堂を支えています。開催の度に、食材の準備（不足や過多）や、スタッフの数や、来客数の読めなさ加減など、小さくない悩みの種を抱えて準備に臨むのですが、終わってみると、ちゃんとそのことがカバーされている、という不思議な体験を毎週積み重ねています。皆さんへの感謝でいっぱいです。

現在、東九条子ども食堂は、京都南部教会の3階にて、毎週木曜日の午後5時半から7時半まで開催されています。（配食は7時半までですが、実際にはお客さんは8時過ぎぐらいまでゆっくりとくつろいでいます。くつろいでもらえる雰囲気なのだなぁと、うれしく思っています。）料金は18歳までは無料、19歳以上の方からは300円いただいています。献立は「食べに行ってみよう」と思ってもらえるものを提供したいという思いから、時々凝りすぎたり、手がかかりすぎたりして大変なことになりますが、質を落とさないようがんばっています。食事後もくつろいでいただけるように、子どもにはお菓子、大人にはコーヒーを準備したり、耳障りにならないBGMを流したりしています。昨年の平均来客数は43人ほど（子どもは18人ほど）だったのですが、今年に入り63人（子どもは30人）と増えてきていて、よって今の課題は7～8食を準備するボランティアスタッフ、食材を安く仕入れることの出来るルート、そして安定した資金源の確保です。

どうぞ皆さん、東九条子ども食堂に一度おいでください。是非食事を召し上がってみてください。そしてもし気が向いたら、一緒にやってみませんか？



スタッフのみなさん。左が許伯基さん。

「おいしい！ほっこり！たのしい！ 東九条子ども食堂」

希望の家カトリック保育園 叶信治

東九条にある南部教会に誕生した子ども食堂。

許伯基牧師から子ども食堂をやりたいと話を聞いた時、私は直感しました。これはきっと楽しい場所になる、大切な場所になる！

2016年9月、食堂のオープンをお祝いする大人の姿がほとんどでしたが、回を重ねるごとに、子どもがどんどん増えていき、今では、所せましと、にぎやかな場所になっています。

子どもたちは・・・はしゃぎまわって、楽しくて楽しくて・・・もうどうにも止まりません。

子どもたちに、子ども食堂のことを聞いてみると・・・

「あそべるから、たのしい。」

「キッズルーム（あそべる場所）があって、おもしろい。」

「友だちと、ごはん食べれる。うれしい。」

「ごはん、おいしい。おやつもある！」

笑顔いっぱいに答えてくれました。

保護者のみなさんも、あちこちで、おしゃべりに花が咲いています。

子ども食堂、いかがですか？

「保護者同士で、お話できてたのしいです。」

「週一回、ごはん助かります」

「ほっこりできます」

「子どもが、木曜日は子ども食堂に行くものや、と決めてます。」

「デザートやコーヒーまであって、うれしいです。」

子育ては、孤立したり、精神的に追い詰められたり毎日の。

保護者のみなさんの笑顔を見ていると、ホントにうれしくなってきます。

南部教会のみなさんに感謝！

みんなで支えて、長く続けてほしいと願っています



2016年度第2回東九条を知る学習会 11/25

どうしたらいいの？ヘイトスピーチ～民族差別をゆるさない東九条～



2009年に京都の朝鮮学校に向けておこなわれたヘイトスピーチのことを昨年お話をさせていただきました。今年はコリアNGOセンター代表の郭辰雄（かく・ちぬん）さんから大阪鶴橋で2013年におこなわれたヘイトスピーチのこと、ヘイトスピーチを止めるためにおこなわれている「カウンター」とよ

ばれる行動のこと、大阪のヘイトスピーチ対策条例や国のヘイトスピーチ解消法のこと、そして共生社会を実現するために地域でどのような教育が必要なのかということについて話をさせていただきました。

在日コリアンが多く住む鶴橋でおこなわれたヘイトスピーチのなかで、当時中学生だった女性が「鶴橋大虐殺をしますよ！」と叫び、街宣に参加する周囲のおとなたちが歓声をあげるといふ出来事がありました。それから3年間、彼女はたびたびヘイトスピーチのデモに現れてマイクを握り後戻りできない状態になっていると聞いて胸が重くなりました。郭さんは外国にルーツをもつ二人の青年の話もされました。一人は、自分は日本のルールを守ってこの国に住む日本人なのだと語ってヘイトスピーチをする団体に参加したそうです。もう一人は、国籍が違っても自分の生まれた場所は日本の日本なのだから「出て行け」と言われる理由はないと思いきやカウンター行動に参加したそうです。この話を聞いて、人々を分断するルールにはきっぱり「違う」と言い、多様な生き方を認め合うおとなたちの決断をこどもたちに伝えていく必要があると思いました。

昨年5月にヘイトスピーチ解消法が成立して、外国にルーツをもつことを理由に差別をあおる発言や行動をしてはいけないという基本的なことが確認されました。法律ができて次にすべきことは、差別を受けて苦しんできた人々の記憶を社会全体で共有することです。郭さんが「記憶は弱者にあり」という劇作家の言葉を引用され、「多様性社会」をめざしていこうと結ばれたとき、地域で目に見える取り組みをしていこうという意識が参加者の中に広がるのを感じました。

さとう大（こっぽんおり事務局長）



□ 所在地：〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町 31（京都市地域・多文化交流ネットワークセンター内）

□ TEL：075-671-0108 □ FAX：075-691-7471 □ E-Mail：info@kyotonetworksalon.jp

□ 開館時間：9時～17時 □ WEB サイト：www.kyotonetworksalon.jp

□ JR 京都駅・京阪東福寺駅・市営地下鉄九条駅より徒歩 15 分

京都市バス 202・207・208 系統 九条河原町より徒歩 10 分／84 系統 河原町八条より徒歩 5 分